



# 福岡高速

---

## リフレッシュ工事写真集

未来へ繋ぐ道と人



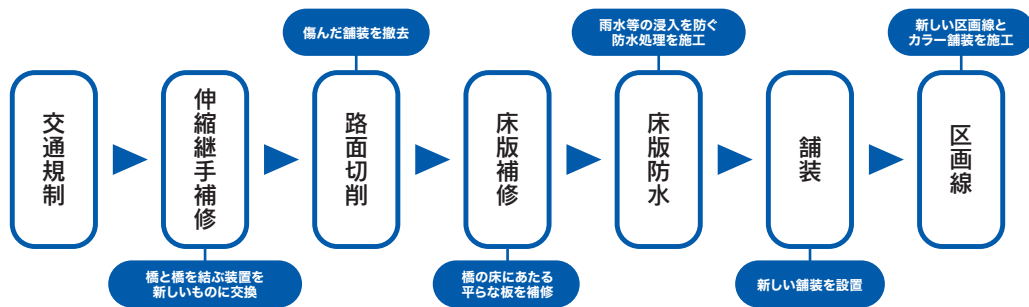
## ●福岡高速リフレッシュ工事の概要

福岡高速では供用から30年以上経過した路線が増加し、経年劣化や交通量の増加などの要因により、傷んだ舗装などの補修が必要になっています。

このため、お客様に安全・安心・快適な走行環境を提供すること、道路の寿命を延ばすことを目的として老朽化・予防保全対策を行っています。リフレッシュ工事はその一環として、長期間にわたる渋滞や騒音など、お客様や沿線住民の方への影響を極力低減させるため短期集中での工事を行ったものです。令和7年度は千鳥橋JCTの香椎→太宰府方面を12日間通行止めとし、その期間中に工事を行いました。



## ●工事の流れ



## ●この写真集について

単なる工事記録に留まらず、構造物の傷み、重機の迫力、人の表情・緊張感、昼夜の連続作業といった“現場のリアル”をお伝えする写真集です。そばを通り過ぎることはあっても、普段じっくりと目にする事の難しい工事現場の中から、安全・安心・快適な都市高速を次の世代へつなぐため、日夜活躍する人々の姿を紹介させていただきます。

福岡高速では今後も様々な維持管理に取り組んでまいります。お客様や沿線住民の方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



通行止めの交通規制を行い、工事が始まります。  
伸縮継手や銘板(橋の記録)から、この道路の長い歴史が伺えます。



今回の工事で高耐久な鋼製の伸縮継手に交換し、お客様が走行する際の安全性や快適性の向上を図るとともに、周辺環境への騒音・振動を低減します。





傷んだ舗装を撤去します。鋼製の床版上ではIHクッキングヒーターと同じ仕組み(熱を使って舗装を溶かす)を用い、騒音や振動を抑えながら舗装を撤去する工法を採用しています。

多数の重機が行き交うダイナミックな工程です。









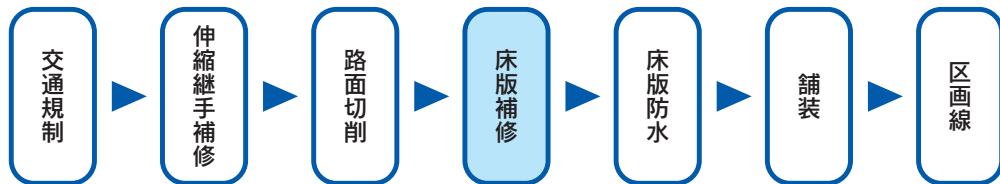






床版を点検し、傷んだコンクリートを取り除いた後に新しいコンクリートで埋め戻します。

人力で取り除かれた固いコンクリートは約33トンに及びました。







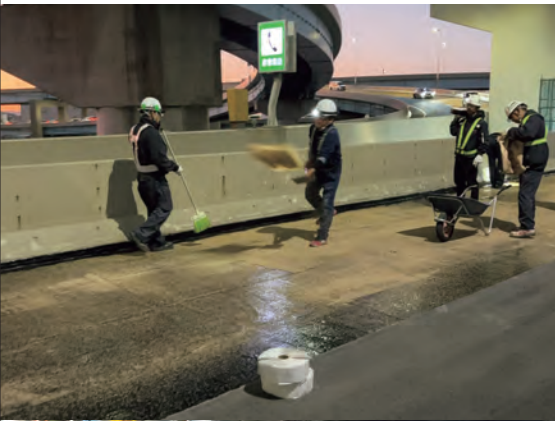






床版に雨水等の浸入を防ぐ防水処理を行います。床版の寿命を延ばす重要な工程の一つです。







新しい舗装を設置します。舗装は基層と表層の2層に分かれており、将来の交通を支えます。





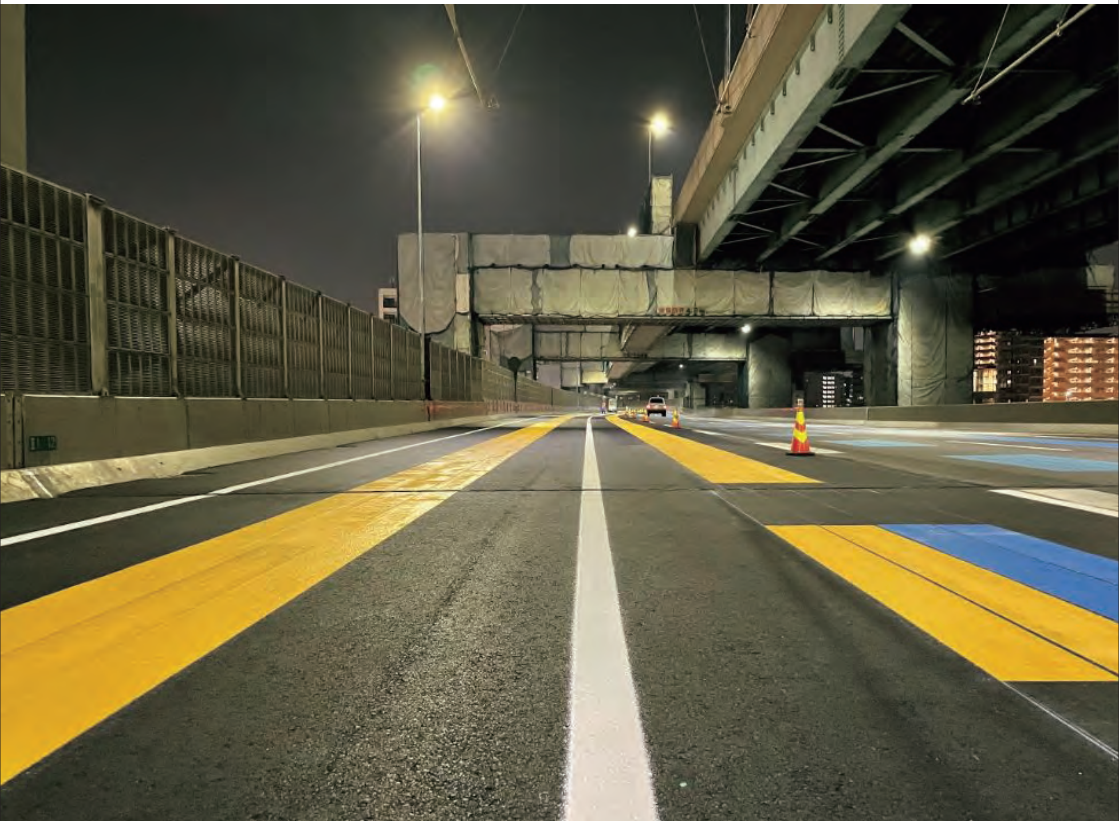






新しい区画線を施工していきます。併せて一部区間にカラー舗装を行い、道路の案内を分かりやすくする安全対策を行っています。





お客様や沿道の地域の方々、工事に従事する方々など、関係する多くの方々の協力のもと工事が完成し、より安全・安心・快適に通行いただける道路に生まれ変わりました。



発行: 令和8年3月

編集: 福岡北九州高速道路公社

フクオカ・リフレ・フォーカスチーム